

1学期も残りわずかとなりました。次週の20日（木）は1学期の終業式になります。1学期は、順調に修学旅行や自然学校、学年PTA活動等の行事や学習活動を行うことができました。大きな事故等なく全員が元気に充実した学校生活を送ることができて大変嬉しく思っています。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力のお陰です。ありがとうございました。

地区別懇談会・救急法講習会 6/30(金)

6月30日（金）に地区別懇談会と救急法講習会を行いました。保護者の皆様には遅くまでご参加いただきありがとうございました。地区別懇談会では全体会で、園・学校から1学期の様子や夏休みの行事等を説明させていただき、その後、地区ごとに「夏休みの柴山っ子の生活」をテーマに懇談をしていただきました。

救急法講習会は、本園の保護者でもある美方郡広域事務組合の寺川 達也 様を講師として行いました。最初に胸骨圧迫の仕方、AEDの使い方のビデオを視聴し、その後、全員で実技を行いました。夜とはいえ、暑さを感じる体育館の中で、全員が、熱心に取り組んでいただきました。ありがとうございました。

【もしもの時に行動を】

心停止の人を目の前にした時、救急法に自信がないからと戸惑っていると、その時間の分だけ助かる命も助からない事態となってしまいます。もしもの時に、思い切って行動することが大切です。夏休みになると、家族で海に行くなど泳ぐ機会が多くあると思います。安全なお休みにしていただきますようお願いいたします。



みんなの願い…七夕飾り ~ 体育館の壁面に ~

児童会の企画として全校生で七夕飾りをつくりました。通常の竹飾りとは趣向を変え体育館の後方の壁に素晴らしい飾りができました。全体の様子が見やすく良いできばえになりました。個人の成長の願いから世界の平和までみんなの願いが書かれた短冊がつけられました。それぞれの願いがかなうといいですね。



ふるさとの海でカヌー体験 <3年生> 6/23(金)

6月23日、3年生がカヌー体験を行いました。毎年、環境体験事業として実施しているふるさと学習です。香住海洋クラブの皆様にお世話になり、貴重な体験ができました。ありがとうございました。

子どもたちはすぐに上達して、ふるさとの海を満喫していました。この体験を通して、ふるさとの海のすばらしさを、からだいっぱい感じたことと思います。

海は柴山の宝です。それは、子どもたちの成長に欠かせないものです。これからさらに、ふるさとを大切に作る子どもに育てていきたいです。



平和集会 <6年発表集会>

7月5日(水)に平和集会を行いました。6年が5月25日・26日の修学旅行での見学内容を含めた「平和についての学び」を全校生に発表しました。発表は3つの班に分かれて、それぞれが調べたことを伝えました。

【戦争中の暮らし】

戦争を経験された沖浦在住の入江 栄造 様の貴重なお話をまとめ、「戦争は苦しいもの、こわいもの」であること、そのような中でも「親子の絆は変わらない」ことを発表しました。また、当時の厳しい暮らしを知る中で「二度と戦争はしない」ことと「今の平和な生活の大切さ」を伝えました。



入江さん

戦争を経験された沖浦在住の入江 栄造 様の貴重なお話をまとめ、「戦争は苦しいもの、こわいもの」であること、そのような中でも「親子の絆は変わらない」ことを発表しました。また、当時の厳しい暮らしを知る中で「二度と戦争はしない」ことと「今の平和な生活の大切さ」を伝えました。



全校児童で体操(昭和16ごろ)

<柴山小学校創立100周年記念誌より>

【広島原爆について】

原子爆弾の大きさや被害の状況を調べ、そのすさまじさを発表しました。また、被ばくにより12歳で亡くなった佐々木貞子さんについて調べ、折り鶴の願いや原爆の子の像ができた理由・原爆ドームをそのままの姿で残している意味を発表しました。「絶対に原子爆弾を使ってはいけない」と伝えました。



【世界の戦争と核兵器】

核兵器禁止条約に日本が参加していないことや世界の核兵器保有国・核兵器の数、さらに今、起きている戦争・紛争について発表しました。「広島のような被害を二度と出さないため、世界中から核兵器がなくなって欲しい」そして「みんなで平和な世界にしていくことが大切」ということを伝えました。

わたしたちにできること



- 遊んだり、話したりして、友だちとわかり合う。
- 相手の気持ちを考えて行動する。
- 協力し、助け合い、仲良くする。

☆最後に日本国憲法・非核三原則に触れ、「自分たちの考え」を伝え【私たちにできること】を発表しました。



伝える6年生、聞く下級生とも真剣な表情で、とても素晴らしい集会でした。<6年生の発表に対し、すべての児童がその場で感想を伝えました。感心しました。>